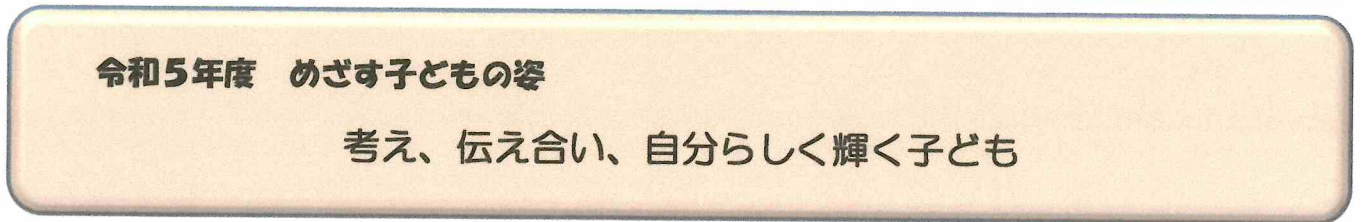


自分事としてとらえる
思いを伝え合う

誰一人、排除しない
誰かのために動ける

健康な心と体を育む
社会に目を向け、つながる



学校保健目標

「なりたい自分=かがやく自分」をめざして「こころ・からだ・しょく・くらし」を見つめ
心身の健康の保持増進のためにすすんで行動できる子どもを育てる

保健室経営目標

健康委員会を中心とした計画的・継続的な活動を通して
「こころとからだ スッキリ東栄っ子」の育成をめざす

指導・支援の内容

○今の自分の体と心を知る
・児童が現在の自分の心身の状態を知ることができるように、運動習慣・ストレスに関するアンケート調査や「インナーマッスル・柔軟性・左右対称性チェック」を実施し、東栄小の課題を明らかにする。

○変化した自分の体と心を知る
・児童が前向きな気持ちでストレッチやトレーニングを継続できるように、自身の心身の状態の変化を実感できる機会を定期的に設ける。

○毎朝の健康づくり
・1日を明るい気持ちで始める、学習への集中力を高めるために、毎朝の健康観察の時間に簡単な運動に取り組み、運動する習慣を定着させる。

○健康委員会
・東栄小全体が楽しみながら健康づくりに取り組めるように、児童の素直な意見やアイデアを大切にされた委員会を運営する。

○学校保健委員会
・児童や保護者、教職員が運動することの良さや楽しさを感じられるように、児童同士や親子間での対話を取り入れたり、運動がもたらす効果や自分に合ったトレーニング方法を学んだりする機会とする。

○関係機関との積極的な連携
・より効果的な実践になるように、学校医や地域の保健師などから助言をいただき、活動に取り入れる。